

阪神南支部では、芦屋市・西宮市・尼崎市の3市で7か所の拠点活動と、定期的に活動をしている出前隊の他、西宮こども祭り・芦屋健康福祉フェア・西宮市健康フェア・尼崎市民祭り・西宮浜さくら祭・西宮看護フェスタなどのイベントに参加し、活動しています。その中で、今年度より「まちの保健室」を開設し、地域に根ざした活動を行っている『大隈病院拠点』と阪神南支部では初の取り組みとなる外国人を対象にした国際交流Dayでの出前隊の活動を紹介します。

大隈病院拠点

4月から毎月第1金曜日に大隈病院受付フロアで「まちの保健室」を開催し、健康相談・指導を行っています。少しでも気軽に興味をもって参加していただくために、開催時期に合わせて、熱中症・インフルエンザ・食中毒予防、「手洗いチェッカー」を使った手洗い指導や、血管年齢測定・骨密度測定、乳がん自己検診啓発等、毎回テーマを決めて行っています。

自分たちで作成した指導用資料を使用しており「解りやすい」と参加者から好評をいただいています。参加人数は10数名から、血管年齢測定・骨密度測定の日に多い時には40～50名の参加がありました。

また、杭瀬商店街・市場の活性化のひとつとして10月26日土曜日に「つまみぐいツアー」が行われた時には、空き店舗で「まちの保健室」を開設しました。病院スタッフが出張し、乳がん自己検診啓発活動を行い、多くの方が立ち寄っていただきました。



私たちは、一人一人に丁寧に対応し、喜んでいただけるよう心掛け、気軽に来所し、相談してもらえる「まちの保健室」を目指して活動しています。

西宮市国際交流Day

阪神南支部で今回初めての試みとなる、国際交流Dayのイベントでの「まちの保健室」を開催しました。

今回、『兵庫県立大学 地域ケア開発研究所広域ケア開発研究部門 国際看護』からのご依頼を頂き、JR西宮駅前フレンテ4階で行いました。

言葉が通じず困ることがあるかもしれない、と少し緊張しながら参加しましたが、ほとんどの方が日本語での対応が可能で、少し表現に困られた方に対しては、大学の方が対応してくださったので、いつもとほぼ変わらない活動ができました。



参加者は47名で、身長・体重・血圧測定・血管年齢測定・健康相談の流れで行いました。

健康相談では糖尿病予備軍の方、血圧に不安がある方、職場環境のストレスによる不眠の訴えがある方その他、交通事故後に運動ができないことによる、体重の増

加を気にされている方や、比較的若い女性も多く、婦人科症状に関する事など、幅広い内容での相談があり、医療機関への受診を進めるケースもありました。

参加された皆さんの健康に対する意識も高く、また、不安を抱えておられる方も多かったです。とても有意義な「まちの保健室」となり、機会があれば、また是非参加させて頂きたいです。

